時事新報

第千二百八十四號　火曜日

明治十九年五月廿五日
丙戌四月廿二日（乙酉）

日出午前四時五十分　日入午後七時四分
月出午前十時五十五分　月入午前十時十二分
潮汐午前十時三十分　午後十時三十六分

（西暦一千八百八十六年）

時事新報定價

一金壹圓○一箇月金六十五錢○三箇月前金一圓八十錢○六箇月前金三圓五十錢○壹箇年前金六圓○一箇年金十二圓○本社ノ賣ル各地ニ於テハ其地賣捌所ヨリ送達ス郵便料ニテ配達スルモノハ此限ニアラズ

東京市内ハ麹町・神田・本郷・下谷・浅草・芝・赤坂・四谷・牛込・小石川・麻布・本所・深川・品川・目黒・渋谷・荏原・豊島・王子・板橋・千住・足立・葛飾・荒川・大森・蒲田・世田谷・玉川・碑衾・淀橋・中野・杉並・荻窪・神田・松戸・山田・柏・鴻巣・二本松・白石・白川・郡山・福島・小田原・沼津・三島・甲府・八王子・千住・越谷・熊谷・高崎・前橋・小諸・岩村田・上田・宇都宮・鹿沼・足利・佐倉・銚子・八幡・船橋・市川

特事新報廣告料（前金）一行ニ付

一行十四字詰	一日限	二日以上十五日迄	十六日以上	十五日以上
一行以上	一行	一行	一行	一行
五十行	八錢	七錢	六錢	五錢
百行	七錢	六錢	五錢	四錢
百以上	六錢五厘	五錢五厘	五錢	四錢五厘

時事報告

商人あるは政事の心掛なかる可らず

民間の人物い財を作るの地に非ざるべからずれを散ずるは地方の盛衰い今より漸に立身せんとする者の爲すべき業に非ずして既に立身したる人の須らく爲すべき務なり左れども世の少壯有爲は徒が未ざ一身の獨立も成さず一家の生計も立たざるに早く既に政事世界に雄飛して其政事の成敗を論じ衣食の道をもこゝに求めんとするい時勢不相當の無望なりと云いざる可らず然れども之は唯少壯有爲は勢資本家に對して言ふべきまとにして既に衣食を充しからず財を散ずるに十分は餘力ある人々に向ていふ又別に所望の點なりと申すは今の日本社會を見るに貧富の格なるは何づれの部分なりやと問へば則ち貧富なりと答るの外なし最も貧富に富む人は農も政事に關する者あり即ち我輩が此種の人々に向て政事の事柄にもちんことを所望するもこれがためのみ斯く言へ共は勢資本家に對して言ふべきまとにして既に衣食を充しからず